

調査書記入上の注意

調査書は、中学校生徒指導要録（以下「生徒指導要録」という。）に基づき、次の点に留意して記入する。

義務教育学校においては、第1学年を第7学年、第2学年を第8学年、第3学年を第9学年として取り扱うものとする。

【一般的事項】

- 1 調査書は、様式第9号の1を用い、令和7年1月末日現在の生徒指導要録に基づき作成する。
※ 様式については、教育委員会で配布したもののほか、茨城県教育委員会ホームページから、ダウンロードができる。
なお、様式を踏まえれば、パソコン等により作成してもよい。
- 2 鮮明に記入する。記入する数字は、すべて算用数字を用いる。ただし、現住所欄等表記上算用数字を用いるのが不適当な場合については、漢数字を用いてもよい。
- 3 記入事項がない場合又は記入できない場合は、斜線（/）を引く。ただし、特別活動の記録の活動の状況の欄についてはこの限りでない。
※ 記入できない項目がある場合には、「その他の事項」の欄にその理由を記入する。
- 4 誤記を訂正する場合は、2本の線（＝）を引いて訂正し、欄外に「〇〇字訂正」と記して、「〇〇字訂正」と記したところに校長印を押す。
- 5 提出する調査書は、原本を複写したものに、校長印を押して提出してもよい。
- 6 「整理番号」欄は、入学願書の整理番号を転記する。（通信制課程、連携型入学者選抜、志願先の変更、転勤子女特例及び第2次募集においては記入不要）
- 7 「受検番号」は、記入しない。
- 8 「志願先高等学校名」は、中学校において記入する。
- 9 「生徒氏名」は、生徒指導要録に記載される氏名をカタカナで記入する。
- 10 「現住所」については、県内居住者は郡・市名から記入し、県外居住者は県名から記入する。
※ 転居予定者は、転居予定先の住所を記入する。
- 11 「志望」は、「全日制」、「定時制」、「通信制」のいずれかを○で囲むこと。第2志望の欄については、第2志望を認めている高等学校を希望する場合で、第2志望がある場合は記入し、なければ斜線（/）を引く。
また、第2志望を認めていない高等学校の場合は斜線（/）を引く。
※ 特色選抜を志願する者で共通選抜における第2志望がある場合は記入する。
- 12 平成31年3月以前の卒業生（中学校卒業後5年を経過した者）の調査書については、生徒指導要録の「学籍に関する記録」とその他必要事項を記入する。
※ 記載に当たっては、「各教科の学習の記録」から「欠席日数」までの欄に斜線（/）を引く。「その他の事項」の欄には、中学校卒業後の職歴又は学歴などを記入する。

【各項目の記入について】

1 各教科の学習の記録

- (1) 第1学年及び第2学年の欄は、生徒指導要録の評定を転記する。
- (2) 第3学年の欄は、生徒指導要録に記入すべき記録を記入する。

2 総合的な学習の時間の記録

3年間の記録（第1学年及び第2学年は生徒指導要録の記録、第3学年は生徒指導要録に記入すべき記録）の中から、生徒の学習状況や成果等の評価を文章で記入する。

※ 記入内容は、生徒の学習状況の顕著な事項やどのような力が身に付いたかなどとする。箇条書きでもよい。

3 特別活動の記録

活動の状況については、第1学年及び第2学年の欄は、生徒指導要録から転記し、第3学年の欄は、生徒指導要録に記入すべき記録を記入する。

4 特別活動に関する事実及び所見

3年間の記録（ただし、第3学年は生徒指導要録に記入すべき記録）から記入する。
 なお、志願先の特色選抜の出願要件に係る具体的な実績等については、必ず記入する。
 ※ 「特別活動」における活動の状況について、主な事実及び総合的に見た場合の所見を記入する。箇条書きでもよい。

5 部活動・特技等の記録

- (1) 部活動の参加及び活動状況について具体的に記入する。
 なお、志願先の特色選抜の出願要件に係る実績等については、出場大会名等を具体的に記入する。
 ※ 箇条書きでもよい。
- (2) 公的機関による資格認定、学校内外におけるスポーツ活動、文化活動、芸術活動及びボランティア活動など特筆すべき記録等があれば、次の記入例を参考に具体的に記入する。
 ただし、「特別活動の記録」の欄に記載すべきことは除く。
 なお、「部活動・特技等の記録」に係る入学選抜における取扱いは、各学校の規程による。

<p>【部活動等】・・・各種目の大会について、最上位のものを記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ○部活動・地域のクラブ活動に所属（○年間） ○部活動（部長・副部長、主将・副主将） ○市内・地区大会以上に正選手で出場（部活動、又は、地域のクラブ活動等）出場（記録等） ○優秀選手及び強化指定選手（地区・郡・市・県） ○北関東中学野球大会出場（記録等） ○ジュニアオリンピックカップ全国都道府県バレーボール大会出場（記録等） ※その他、県レベルの大会における顕著な記録（優勝・準優勝など） ○市内・地区大会等以上のコンテスト・コンクール・競技会・展覧会等（読書感想文、吹奏楽、合唱、ソロ、アンサンブル、絵画、デザイン、書写、IT関係など）出展及び出場（記録等） ○NKK全国学校音楽コンクール出場（記録等） ○NKK杯全国中学校放送コンテスト出場（記録等） ○東関東大会（吹奏楽・合唱）出場以上（記録等） ○英語プレゼンテーションフォーラム県大会出場（記録等） ○高円宮杯全日本中学校英語弁論大会県大会出場（記録等） ○科学オリンピック等（数学、ジュニア数学、生物学、化学、地学、物理、地理、情報）出場（記録等） ○科学の甲子園ジュニア出場（記録等） ○日本学生科学賞（記録等） ○県科学研究作品展（記録等） ○日本学生児童発明くふう展（記録等） ○全国書道展（記録等） ○JA共済全国小・中学生書道コンクール（記録等） ○茨城新聞社主催書道展（記録等） ○全国教育美術展（記録等） ○統計グラフコンクール（全国・県）（記録等） ○全国中学生創造ものづくり教育フェア（記録等） ○書道特待・準特待 ○少年の主張の大会（記録等） ○いばらきっ子郷土検定県大会出場 ○市町村主催海外派遣団員 ○奉仕活動の参加者、県教委善行賞など公的機関より表彰を受けた者 ○学校・公的団体でのボランティア活動（○年間） ※その他、顕著な活動と見なされる場合 		<p>（記録等）の記入については、「一つ下の大会の順位や当該大会の順位、金賞など入賞の記録」を記入する。 <例> R 6 県総体卓球大会出場（県南；個人3位） R 6 県新人柔道大会出場（県北；団体2位） R 6 県総体サッカー大会（団体2位） R 5 県新人ソフトテニス大会（個人2位） R 6 為桜野球大会（優勝） R 6 茨城県美術展覧会（入選）など</p>
<p>【特技等】・・・各種の資格等の級や段などについては、最上位のものを記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ○英語検定4級以上 ○文章能力検定4級以上 ○数学検定4級以上 ○歴史検定4級以上 ○理科検定4級以上 ○漢字検定4級以上 ○書写検定4級以上 ○書道初段以上 ○アマチュア無線4級以上 ○危険物取扱者乙種4類等 ※その他、顕著な資格と見なされる場合 ※「英語検定」等の表記は「英検」と略してもよい 		

※ 各項目の記入については、枠内【部活動等】、【特技等】のように箇条書きでもよい。

6 欠席日数

令和7年1月末日現在で記入する。
 ※ 欠席日数がない場合には、空白とせず0を記入する。

【参考】

義務教育段階の不登校児童生徒が学校外の公的機関や民間施設において、指導・助言等を受けている場合の指導要録上の出席扱いや、義務教育段階の不登校児童生徒が自宅においてICT等を活用した学習活動を行った場合の指導要録上の出席扱いについては、令和元年10月25日付（元文科初第698号）通知の別記1、別記2によるものとする。

7 その他の事項

- (1) 欠席日数が第3学年に10日以上ある時には、主な理由を記入する。
- (2) 過年度卒業者については、中学校卒業後の職歴又は学歴などを記入する。